

2016年度

環境活動レポート

(2016年4月1日～2017年3月31日)



発行日：2017年7月1日

 **三菱マテリアル電子化成株式会社**

日本海建設電気事業所

〒010-0065 秋田県秋田市茨島三丁目1番6号

TEL 018-863-0251 FAX 018-863-6353

1. 環境方針

<基本理念>

当事業所は、地域に根ざした建設業者として、環境に対する企業の社会的責任と重要性を認識し、地域をはじめとする地球環境の保全と維持に配慮すると共に、環境負荷の少ないコンストラクションを目指した事業活動を継続的に行うものとする。

<活動指針>

1. 当事業所の事業活動では、事業活動における環境負荷の軽減及び環境負荷の少ない施工方法を推進します。
2. 当事業所の事業活動に関係する環境関連の法令、規制、協定などの要求事項を遵守するとともに、排水や廃棄物の適正な管理及び緊急事態への対応訓練により汚染の防止に努める。
3. 当事業所の事業活動に伴い、環境に著しい影響を与える可能性のある項目について環境目的、環境目標を定めて管理し、定期的に見直すことにより、事業活動の継続的な改善に努める。
 - ①省資源
 - ②省エネルギー
 - ③産業廃棄物の削減
 - ④有害物質の削減
4. 環境方針を実行することの重要性及び当事業所の事業活動が環境に与える影響について、環境に関する教育を通じて、当事業所の従業員及び当事業所の工事現場内で作業を行うすべての要員に周知徹底を図ります。
5. 当事業所は、この環境方針を達成するために、エコアクション21に適合した環境マネジメントシステムを構築し、維持し、継続的に改善する。
6. この環境方針は、一般に公開致します。

2016年4月1日

三菱マテリアル電子化成株式会社
取締役日本海建設電気事業所長
鈴木 憲二

2. 組織の概要

2-1. 事業所名及び代表者名

- ◆ 三菱マテリアル電子化成株式会社 日本海建設電気事業所
- ◆ 取締役日本海建設電気事業所長 鈴木 憲二

2-2. 事業の概要

- ◆ 土木工事・建築工事の設計、施工、監理および請負
- ◆ 電気工事、計装工事、通信工事、警報工事の設計、施工、監理および請負ならびに保守、点検

2-3. 所在地と連絡先（担当者）

- ◆ 住 所：〒010-0065 秋田県秋田市茨島三丁目1番6号
(連絡先：TEL 018-863-0251 FAX 018-863-6353 Email：jmnsales@mmc.co.jp)
- ◆ 担当者：環境管理責任者 山崎 博久

2-4. 事業の規模

- ◆ 創 業：1967年6月 ◆ 資本金：26億円
- ◆ 売上高と従業員数：

事業年度	2013年 (2013.4~2014.3)	2014年 (2014.4~2015.3)	2015年 (2015.4~2016.3)	2016年 (2016.4~2017.3)
売上金額（百万円）	1,180	1,600	1,504	1,894
従業員数（人）	27	28	31	32

注）売上金額は、当社会計年度（当年4月～翌年3月まで）による。

3. 対象範囲と対象取組期間

3-1. 認証・登録範囲

- ◆ 日本海建設電気事業所（全組織・全活動）
※三菱マテリアル電子化成株式会社・本社事業所ではISO14001に基づくマネジメントシステムの認証を取得しております。

3-2. 環境活動レポートの対象取組期間

- ◆ 2016年4月1日～2017年3月31日
※当社会計年度（4月～3月）に合わせ、毎年7月に発行していきます。

4. 環境目標

4-1. 環境目標項目の選定

環境負荷の自己チェックと環境への取組の自己チェック、ならびに環境方針との整合性

を図り、次の6項目について、環境目標を設定しました。

- 1) 二酸化炭素排出量削減 2) 廃棄物排出量削減 3) 総排水量削減
4) 化学物質使用量削減 5) グリーン購入推進 6) 省エネ関連工事の受注

4-2. 環境負荷の実績及び環境目標（短期・中長期）の設定

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量、化学物質排出量、グリーン購入、製品サービスに係る環境負荷の削減について、単年度目標ならびに中長期目標を下記のように設定しました。

	2014年度実績 基準年度 (2014.4~2015.3)	単年度目標 2016年度 (2016.4~2017.3)	中長期目標 2015~2017年度 (3年間)
◆二酸化炭素排出量	133,866 kg-CO ₂	基準年度より 2%削減	基準年度より 3%削減
1) 電力	42,141 kg-CO ₂	基準年度より 2%削減	基準年度より 3%削減
2) ガソリン・軽油	64,048 kg-CO ₂	基準年度より 2%削減	基準年度より 3%削減
3) 灯油・LPG	27,677 kg-CO ₂	基準年度より 2%削減	基準年度より 3%削減
◆廃棄物排出量			
1) 産業廃棄物	6,860 t	基準年度より 2%削減	基準年度より 3%削減
2) 一般廃棄物	データ無し	2015年度より 1%削減	2015年度より 2%削減
◆総排水量（水使用量）	418 m ³	基準年度より 2%削減	基準年度より 3%削減
◆化学物質使用量	データ無し	化学物質の特定	化学物質の特定
◆グリーン購入率	78%	80%	85%
◆省エネ関連工事受注	データ無し	2015年度より 1件増	2015年度より 2件増

4-3. 2016年度（取組対象期間）環境目標値

4-2. の考え方に従って、2014年度実績値を基に、2016年度の具体的目標値（暫定）を下記のように算出しました。

	2014年度実績 (2014.4~2015.3)	2016年度目標 (2015.4~2016.3)
◆二酸化炭素排出量	133,866 kg-CO ₂	131,190 kg-CO ₂
1) 電力	42,141 kg-CO ₂	41,299 kg-CO ₂
2) ガソリン・軽油	64,048 kg-CO ₂	62,767 kg-CO ₂
3) 灯油・LPG	27,677 kg-CO ₂	27,124 kg-CO ₂
◆廃棄物排出量		
1) 産業廃棄物	6,860 t	6,722 t
2) 一般廃棄物	データ無し	1,137 kg
◆総排水量（水使用量）	418 m ³	410 m ³
◆化学物質使用量	データ無し	化学物質の特定
◆グリーン購入率	78%	80%
◆省エネ関連工事受注	データ無し	8件

5. 主な環境活動計画

5-1. 二酸化炭素排出量の削減

1) 電力使用量の削減

- ◆室内温度は、冷房時 28℃、暖房時 20℃の設定とする
- ◆昼休み等、不要な照明を消灯する
- ◆不要な OA 機器の電源 OFF、帰宅時に PC の電源 OFF
- ◆各種スイッチ付近に節電ポスター掲示により、意識徹底を図る

2) ガソリン・軽油使用量の削減

- ◆エコドライブの徹底
- ◆エコドライブ 10 のすすめを掲示により、意識の徹底を図る
- ◆排気ガス、騒音レベルを抑えるため、適正な車輛管理を行う

3) 灯油・LPG使用量の削減

- ◆暖房の温度設定 20℃の徹底



5-2. 廃棄物排出量の削減

- ◆分別を徹底し、リサイクルの推進
- ◆マニフェストをもとに廃棄物の適正処理の徹底
- ◆廃棄物の中間処理場などを定期的に、直接、確認
- ◆会議時のプロジェクターの使用、両面印刷、縮小印刷
- ◆裏紙の使用
- ◆コピー機のトナーカートリッジの回収、リサイクルの推進
- ◆テプラカートリッジの回収、リサイクルの推進



5-3. 排水量（水使用量）の削減

- ◆節水ポスター掲示により、意識の徹底を図る
- ◆蛇口の水漏れが無い確認



5-4. 化学物質使用量の削減

- ◆化学物質(塗料等)の適正使用(蓋の開けっぱなし厳禁)
- ◆化学物質(塗料等)の適正廃棄
- ◆化学物質(塗料等)の適正保管(施錠管理)

5-4. グリーン購入の推進

- ◆事務所消耗品について優先的にグリーン購入を実施

5-5. エコ設計・エコ施工

- ◆施主の意向厳守



6. 環境目標の実績（2016.4～2017.3）

対象取組期間における環境目標の達成状況は下記に示すとおりでした。

6-1. 二酸化炭素排出量

1) 全体（目標：2%削減）

2014年度実績	2016年度目標	2016年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
133,866 kg-CO ₂	131,190 kg-CO ₂	185,087 kg-CO ₂	▲51,221 kg-CO ₂	▲38%	×

【コメント】二酸化炭素排出量全体で、基準年度比、38%増加し目標を達成することができませんでした。下記に排出要因別の達成状況を示します。

2) 電力使用（目標：2%削減）

2014年度実績	2016年度目標	2016年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
42,141 kg-CO ₂	41,299 kg-CO ₂	64,685 kg-CO ₂	▲22,544 kg-CO ₂	▲53%	×

【コメント】基準年度比、53%増加し目標を達成することができませんでした。事業活動が好調だった為、大規模工事の稼働が増加した結果、電力使用量が大幅に増加しました。また、事務所では人員増加と熱中症対策の観点より冷房の稼働時間を増やしたことにより電力使用量が増加いたしました。

3) ガソリン・軽油使用（目標：2%削減）

2014年度実績	2016年度目標	2016年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
64,048 kg-CO ₂	62,767 kg-CO ₂	74,368 kg-CO ₂	▲11,601 kg-CO ₂	▲18%	×

【コメント】基準年度比、18%増加し目標を達成することができませんでした。事業活動が好調だった為、大規模工事の稼働が増加した結果、ガソリン使用量については減少しましたが、建設機械の軽油使用量が大幅に増加しました。車両についてはエコドライブの推進、建設機械については待機時のアイドリングストップ等を実施し、使用量の削減に取り組んでおります。

4) 灯油・LPG使用（目標：2%削減）

2014年度実績	2016年度目標	2016年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
27,677 kg-CO ₂	27,124 kg-CO ₂	46,034 kg-CO ₂	▲18,357 kg-CO ₂	▲66%	×

【コメント】基準年度比、66%増加し目標を達成することができませんでした。事業活動が好調だった為、大規模工事の稼働が増加し、コンクリート打設時のヒーター使用の増加による結果、灯油使用量が増加致しました。室内では無理のない程度に暖房20℃を徹底し、使用量の削減に取り組んでおります。

※1…削減量・削減率の欄において、▲印は、マイナス（増加）を示す。

※2…評価：◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→昨年度とほぼ同じ、×→昨年度より増加

6-2. 廃棄物排出量

1) 産業廃棄物（目標：2%削減）

取組期間における廃棄物の排出実績は下表のとおりで、産業廃棄物においては解体工事にて排出されるコンクリートくずが多くなっています。これらは建設副産物であり100%リサ

イクルされます。

今回の集計では、基準年度比 51%削減し目標を十分クリアしましたが、今後も廃棄物の分別を推進し、リサイクル率を向上させ、排出量の削減を向上させる取組を推進します。

2014 年度実績	2016 年度目標	2016 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
6,860 t	6,722 t	3,294 t	3,566 t	51 %	◎

【コメント】基準年度比で、51%減少し目標を達成しました。これは基準年度に大規模な解体工事があった為、廃棄物の排出量が多かった為です。建設業では受注工事状況において大きく左右される傾向があります。

※1…削減量・削減率の欄において、▲印は、マイナス（増加）を示す。

※2…評価：◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→昨年度とほぼ同じ、×→昨年度より増加

2) 一般廃棄物（目標：1%削減）

一般廃棄物においては古紙及び可燃ごみの排出が多くなっています。古紙については再生資源としてリサイクルされますが、可燃ごみについては焼却され、リサイクルされません。紙類の分別をより徹底し、引き続き再資源化率を向上させる取組を推進します。紙類節約の徹底や、ごみ分別方法のポスター掲示などの廃棄物削減に向けた取組を継続中です。

◆ビン・缶類・ペットボトル・古紙（再資源化）

◆その他の可燃ごみ（焼却処理）

対象期間内における排出量の実績値は下記のとおりです。

2015 年度実績	2016 年度目標	2016 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
1,149 kg	1,137 kg	766 kg	383 kg	33 %	◎

【コメント】基準年度比で、33%減少し目標を達成しました。これはミスプリントの再利用を推進し排出量を大きく減らした結果です。

6-3. 総排水量・水使用量（目標：2%削減）

総排水量は、地下水は使用していないので、水道の使用量と等しくなります。基準年度比、23%減少し目標を達成しました。原因としましては基準年度に老人ホーム新築工事があり多量に水使用が多かった為です。事務所廻りの植物を増やし、グリーンカーテンを再開したことにより植物への水やりが大幅に増えましたが、それ以上に基準年度からの使用量減少が大きくなりました。

2014 年度実績	2016 年度目標	2015 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
418 m ³	410 m ³	318 m ³	100 m ³	23 %	×

※1…削減量・削減率の欄において、▲印は、マイナス（増加）を示す。

※2…評価：◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→昨年度とほぼ同じ、×→昨年度より増加

6-4. 化学物質排出量（目標：適正使用と現状把握）

化学物質排出量については、塗料などに含まれる含有物質が少量多品目となり排出量の集計は困難な為、化学物質の特定と、化学物質含有資材の適正保管、適正使用、適正廃棄としております。

化学物質の種類（抜粋）
キシレン・スチレン・メタノール他

6-5. グリーン購入の推進

事務所にて使用する消耗品についてグリーン購入を推進しております。事務用品については概ねエコ商品となっておりますが、一部で該当商品が無いものがあります。エコ商品を優先的に選択し、グリーン購入割合向上に向けた取組を継続中です。

	2014 年度実績	2016 年度目標	2016 年度実績
消耗品購入件数	230 件		264 件
うちグリーン購入件数	180 件		189 件
グリーン購入割合	78 %	80 %	72 %

6-6. 省エネ関連工事の受注

今年度より省エネに関する工事の受注に環境目標項目を変更しました。

今年度はLED照明への交換工事が主な受注となっており、道路照明、コミュニティセンター等、大規模改修工事の受注により目標を達成しました。

引き続き、LED照明以外の工事も含め、より多くの省エネ関連工事の受注を目指します。

	2014 年度実績	2016 年度目標	2016 年度実績
省エネ工事受注件数	7 件	8 件	10 件

7. 環境活動計画の取組結果の評価

ならびに次年度の取組内容

7-1. 環境活動計画の取組状況の評価

○…十分に取組んだ △…ある程度取組んだ ×…取組不十分（未実施） —…評価保留

取組項目	具体的活動計画	評価	
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	◆室内温度は、冷房時 28℃、暖房時 20℃の設定とする	○
		◆昼休み等、不要な照明を消灯する	○
		◆不要な OA 機器の電源 OFF、帰宅時に PC の電源 OFF	○
		◆各種スイッチ付近に節電ポスター掲示により、意識の徹底を図る	○
	ガソリン・軽油使用量の削減	◆エコドライブの徹底	△
		◆エコドライブ 10 のすすめを掲示により、意識の徹底を図る	○
		◆排気ガス、騒音レベルを抑えるため、適正な車輛管理を行う	○
灯油使用量の削減	◆暖房の温度設定 20℃の徹底	○	
廃棄物排出量の削減	◆分別を徹底し、リサイクルの推進	○	
	◆マニフェストをもとに廃棄物の適正処理の徹底	○	
	◆廃棄物の中間処理場などを定期的に、直接、確認	△	
	◆会議時のプロジェクターの使用、両面印刷、縮小印刷	○	
	◆裏紙の使用	○	
	◆コピー機のトナーカートリッジの回収、リサイクルの推進	○	
	◆テプラカートリッジの回収、リサイクルの推進	○	
排水量（水使用量）の削減	◆節水ポスター掲示により、意識の徹底を図る	○	
	◆蛇口の水漏れが無い確認	○	
化学物質使用量の削減	◆化学物質（塗料等）の適正使用（蓋の開けっぱなし厳禁）	△	
	◆化学物質（塗料等）の適正廃棄	○	
	◆化学物質（塗料等）の適正保管（施錠管理）	○	
グリーン購入	◆事務所消耗品について優先的にグリーン購入を実施	○	
省エネ関連工事の受注	◆省エネ関連工事の受注	—	

7-2. 次年度の取組内容（方向性）

2016 年度の結果を踏まえ、事業活動の好調により大規模工事の増加、人員増加等の要因があったものの、二酸化炭素排出量においては目標と大きく乖離した結果となりました。活動を始めて間もないことから、今後数年のデータを基に比較方法や目標数値の検討を行う必要がありますが、引き続き現状の活動を継続いたします。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟の有無

2016年3月31日付において、環境関連法規等の遵守状況を確認しましたが、違反状態は認められませんでした。また、関係当局からの違反等の指摘や指導、あるいは、外部からの訴訟についても、過去3年間一度もありません。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

9-1. 環境経営システムの有効性の評価

環境マネジメントシステム構築より2年が経過しましたが、エコアクション21についてももう一步踏み込んだ理解が必要と思われます。

今後、環境管理責任者を中心として、全従業員で有効的なPDCAサイクルにより継続的な改善を図り、積極的な取組及び事業活動を通して、人と社会と地球のために貢献したいと考えています。

9-2. 環境経営システム変更の必要性

現段階で、環境方針、環境目標、環境活動計画等、システムの主要部分について、変更の必要はないと判断します。


ただし、2016年度の結果を受け、確実な要因およびデータの把握と分析を行い、今後の目標設定等の検討を行います。

9-3. 次年度以降の取組の方向性

2016年度、目標を達成できなかった項目については、大規模工事の増加と人員増加が主な要因となることから、今後数年の要因とデータの分析を基に目標数値や比較方法の見直しを検討し、活動の見える化を推進し、エコアクション21の更なる活動へ取組ま

この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。ご希望の方は、弊社窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。また、エコアクション21認証取得後は、エコアクション21中央事務局のHP (<http://www.ea21.jp/>)でもご覧いただけます。

〒010-0065 秋田県秋田市茨島三丁目1番6号

 **三菱マテリアル電子化成株式会社**
日本海建設電気事業所

TEL 018-863-0251 FAX 018-863-6353

Email : jmnsales@mmc.co.jp